

Seasonic Japan 株式会社

台湾の大手電源装置の製造販売企業 **Sea Sonic Electronics Co., Ltd.** が日本に進出。
電源装置一筋の確かな技術力と専門性で日本での販路拡大を目指す。

2012年5月、台湾の大手電源装置製造・販売企業 **Sea Sonic Electronics Co., Ltd.** が東京都に **Seasonic Japan 株式会社** を設立した。



Sea Sonic 社は、台湾の台北に本社機能を置く世界有数の電源装置メーカーで、1975年に設立された。当初は主に試験装置などを製造していたが、1980年にPC電源ユニット市場に参入した。それ以来、大手PCメーカーに製品を提供し続け、2000年にはテレコミュニケーションやネットワーク電源市場の参入に成功し、製造設備を増設した。2002年に台湾で株式上場を果たし、翌年に自社のブランドネームで開発したリテール（一般ユーザー向け）製品は、世界中から数々の受賞や推薦を獲得した。2005年に電力変換効率の高さの規格である「80 PLUS」認証を世界に先駆けて取得した後、2008年には、当時同規格の最高ランクであった「80 PLUS GOLD」認証を業界で初めて取得。翌年、世界初となる「80 PLUS GOLD」の高効率電力の電源ユニットをリテール市場に投入し、それ以降も先端製品を提供し続けている。同社の製品はPC電源以外にも、空港のX線検査装置や銀行のATM、コンビニのレジ等に幅広く使用されている。中国の広東省に生産工場、米国とオランダに子会社があり、このほど、世界3番目の拠点として、日本に株式会社を設立した。

日本進出を決めた理由

Sea Sonic 社が日本進出に向けて本格的に動き出したのは、2011年だった。日本では、以前から家電量販店等に製品の出荷を行い、消費者向けの事業を行っていた。しかし、リテール販売だけでなく、サーバー用や工業用の需要が大きい日本市場はポテンシャルが高いと捉え、進出を決意した。アジアにおいて重要な位置を占める日本市場で成功を収めることができれば、今後の事業展開に弾みがつくと考えている。



同社製品

今後の事業展開

日本法人は営業拠点として、国内の更なる販路拡大を目指すとともに、今後は技術者を雇用し、テクニカルサポートセンターを設置することを検討している。技術的な問い合わせにも応じられる体制を整備することで、顧客サービスの充実を図る狙いだ。

Seasonic Japan 社営業グループゼネラルマネージャーの国方宏志氏は、「電源装置分野において、日本市場は独特」と語る。日本は電力効率よりもカスタマイズを重視する傾向があり、米国、カナダなど海外で評価が高く、一般的な電力変換効率の認証技術が、まだそれほど浸透していない。そこに参入のチャンスがある。Sea Sonic 社は、中国工場で製造を行うことによるコストダウンに加え、37年間電源装置一筋を貫いてきた、確かな技術力、専門

性の高さを売りとしている。電力効率を高めた同社の製品は、消費電力を下げるため、静音化や節電につながる。日本における昨今の省エネや環境配慮に対する意識の高まりも、同社製品の拡販の後押しとなりそうだ。



展示会出展の様子

ジェットロは同社の日本進出のサポートとして、テナポリーフリースの貸与、会社設立の手続き、銀行口座開設、人材雇用および労務に関するコンサルテーションを行った。国方氏は、「特に登記や銀行口座の開設などの手続きの際には、社長が外国人であるがゆえ、手続きに苦勞する面も多く、ジェットロのコンサルテーションが役に立った。」と語っている。



本社オフィスの様子

ジェットロのサポート

「ジェットロにもっと早く相談していればよかった。」同社日本法人代表、チェン・ワレン氏のコメントだ。ジェットロが同社の日本進出に携わるようになったのは、チェン氏自ら、東京のジェットロ本部の相談窓口にお問い合わせたことがきっかけだった。

(2012年10月)

同社沿革

1975年	Sea Sonic 社設立
1984年	本社を台湾、台北に移転
2002年	米国オフィスを設立(カリフォルニア・米国) 台湾で株式上場
2005年	米国オフィスを100%子会社化
2008年	オランダのロッテルダムに子会社を設立
2012年	日本法人を設立

Seasonic Japan 株式会社

設立：	2012年
事業概要：	スイッチング電源とその周辺機器の開発製造・販売
親会社：	Sea Sonic Electronics Co., Ltd. (台北・台湾)
URL：	http://www.seasonic.com